

★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力
【】 は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）
○ は、幼児教育と小学校教育の学びのつながり

北方保育所 12月実践

ねらい：友達や先生と一緒に、つくり方を確認しながら折り、形の変化に気付き楽しむ。
活動：折り紙の基本的な折り方に気を付けながら折り、リース飾りをつくる。

サンタになるまでに、三角や四角、いろいろな形ができるね、一緒に折っていこう。



わかった！お兄ちゃんと同じサンタができるかな。

端と端を合わせて折り目をしっかり付けて。

交流で小学生からもらったプレゼントのクリスマスリースの由来やつくり方などについて、お互いの意見や思いを出し合っていた。

サンタやトナカイを折り始めると「端と端を合わせて」「三角にするよ」「しっかりと折り目を付けて」など折り方の基本に気を付けながら、指先を工夫して使い、折っていた。

★知識及び技能の基礎

【言葉による伝え合い】【思考力の芽生え】

○ こうした経験の積み重ねは、互いの思いや考えを伝え、受け入れたり認め合ったりしながら一緒に活動する姿につながっていく。

ねえねえ！ここの折り方教えて。

折り方が少し難しくても失敗しても、粘り強く取り組んでいた。分からないときは、友達同士で教え合ったり先生に聞いたりするなど、言葉でのやり取りも活発になっていた。

★学びに向かう力、人間性等

【自立心】【言葉による伝え合い】

- こうした経験の積み重ねは、自分でできることは自分でしようと積極的に取り組む姿につながっていく。
- 自分なりに考えたことや疑問に思うことを相手に分かるように話す力につながっていく。



ここを少し折るんだね。

裏返して、この端を少し折ったら、角になるよ。

サンタクロースやトナカイ、どんな顔にしようかな。



びっくりしている目は星にしよう。

ほっぺはどうしようかな。

サンタの顔を描きながら「目は三日月、笑ってるようにしよう」「口は丸がいいかな」など、自分のイメージに合った描き方を工夫していた。

「星形にすると本当にびっくりしている目に見えて面白いね」など、自分の表現を友達や先生に認められたことが、新たな表現を考えようとする意欲につながっていた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎

【豊かな感性と表現】